

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

I 基本事項

整理番号

242

事業名	傷痍軍人会補助金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	健康福祉部	福祉課		款	民生費・3款
電話	0799 - 44 - 3002			項	社会福祉費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	なし	目	社会福祉総務費・1目
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務				
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	人づくり 知恵あふれ 郷土愛が満ちるまちづくり			
	まちづくりの目標	大好き ふるさと南あわじ【郷土愛】			
	施策目標	地域の歴史を学び、祭や伝統文化に親しみ、語り継ぐことのできる市民を育てる			

II Plan&Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事務概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人を、構成員内訳) 南あわじ市傷痍軍人会(戦傷病者及び戦傷病者の妻)				構成人数(人) 101
		活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 戦争犠牲者を共に慰め、会員相互の親睦と生活活動を共に励まし、互いに助け合い自主的団結力をもって、如何なる戦争をも排除すると共に、相互援助・福利厚生を図る。				
	実施内容	(主な事業、活動内容等) 1. 会員の恩給及び障害年金、並びに厚生相談に関する事業 2. 会員相互の理解と親睦を図るための事業 3. 会員の生活向上、福祉の増進に関する事業 4. 戦没者遺族、未復員者、留守家族への連絡並びに援助に関する事業				
	団体の概要	(どのような団体か、活動目的、活動内容など) 南あわじ市内に居住する戦傷病者手帳を有する傷痍軍人、軍属及び本会の組織目的に賛同する者が、南あわじ市戦没者追悼式の参加、南あわじ市傷痍軍人会総会及び年6回の役員会の開催、日本傷痍軍人会全国大会の参加、健康とさわやか交流事業の参加、地区の忠魂碑の清掃及び慰霊祭の実施。				
		事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input type="checkbox"/> 補助団体	<input checked="" type="checkbox"/> 市役所	<input checked="" type="checkbox"/> 市単位 (福祉課)	<input type="checkbox"/> 旧町単位 ()
					<input type="checkbox"/> 旧村単位 ()	
	補助金算出根拠	南あわじ市補助金等交付規則、南あわじ市傷痍軍人会活動補助金交付要領 戦傷病者等の戦争犠牲者に対する活動を促進するために補助金を交付する。				
補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~	平成	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	(合併前におけるの事業実施団体と合併時における事務調整経緯)					
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 三原郡町村会事業を市に引き継ぐ。					

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資源配分 インプット	直接事務費 (千円)	420	420	420	350
	傷痍軍人会補助金	420	420	420	350
	事務局事務費(市が事務局の場合)				
	財源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	420	420	420	350
	人件費(正規職員)[B] (千円)	614	598	602	602
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)	20	20	20	20
	事業量2(事業に要した人数)	1	1	1	1
	年間経費([A]+[B])	1,034	1,018	1,022	952
「構成人数」一人当り経費 (千円)	10.2	10.1	10.1	9.4	
受益者人数(101)一人当り経費(千円)	10.2	10.1	10.1	9.4	
経費に関する 補足説明					

Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 恩給、障害年金及び厚生相談などの事業を実施することで、会員相互の親睦や生活維持及び福祉の増進に役立っている。また、日本傷痍軍人会の全国大会の参加や研修旅行及び地区活動等の実施で、高齢化した会員相互の一致団結や理解と親睦を図る上で、南あわじ市の補助金の効果が上がっている。	自己評価 (5点評価)
		4
必要性	公共性の高低 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 (公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 各種事業を実施するうえで、運営費の占める割合の高い会費が、会員の死亡に伴い、減少している。安定した運営を持続するためには、南あわじ市の補助金は欠かすことのない財源となっている。	自己評価 (5点評価)
		4
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 会員の高齢化に伴う、組織の弱体化や各種事業の先細りが懸念されるが、役員を中心に、現在のところ事業計画を着実に実施されているので、当面現状を維持していきたい。	<p style="text-align: center;">評価グラフ</p> <p style="text-align: center;">費用対効果 必要性</p>

IV Action&Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減
	<p>大幅な事業の拡大は望めないが、現在の事業を着実に実施していきたい。</p>	同左
(現状維持以外の改善方法)	<p>今後とも経費節減の上、継続して会の運営に努める。</p>	同左
改善によって期待される効果	<p>活動は継続しつつ予算節減となる。</p>	同左
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 補助金を廃止した場合、各事業の縮小、または会員相互の親睦、福祉の増進に支障がでる。</p>	